

機関誌「建設リサイクル 2016 秋号」のご案内



「建設リサイクル推進計画 2014」での目標値設定品目について、品目毎の取組みを特集する第2回目。「建設発生土」を前後編に分けて、現状や今後の方向性、先進的な取組事例などについて取り上げます。

特集 更なる建設リサイクルの推進に向けて

第2回

建設発生土

前編

道路・堤防・海岸防災林等、土地の造成に係る社会基盤整備にあって重要な建設材料である土砂。利用土砂の建設発生土利用率は平成24年度で88%に達している。建設発生土利用をさらに推進し建設発生土リサイクルの総合マネジメントを目指して、地域における先進的な取組事例等を紹介する！！

写真提供：東京都下水道サービス株式会社

【特集目次】

- ◇建設発生土リサイクルの総合マネジメント 一般社団法人環境地盤工学研究所所長、京都大学名誉教授 嘉門雅史
- ◇建設発生土情報交換システムについて -発生土の円滑な工事間利用を支援- 一般財団法人日本建設情報センター(JACIC)建設副産物情報センター
- ◇建設発生土工事間利用促進のための最適な工事組み合わせ情報の提供 株式会社日本能率協会総合研究所社会政策研究部 松田愛礼
- ◇首都圏の建設発生土の利用に関するUCRの役割について 株式会社建設資源広域利用センター(UCR)事業部長 渡辺孝夫
- ◇東京都下水道局中川建設発生土改良プラントについて 東京都下水道局建設部工務課統括課長代理 北村武雄、東京都下水道サービス株式会社中川建設発生土改良プラント事業所所長 嶋田政春、東京都下水道サービス株式会社管路部土木技術課課長代理 松澤秀典
- ◇建設発生土の再利用について「福岡市建設発生土リサイクルプラント認定審査制度」 福岡市財政局技術監理部技術監理課
- 【ニュース・フォーカス】 建設廃棄物協同組合「建設泥土品質管理基準」の策定 建設廃棄物協同組合理事長 島田啓三
- 【クローズ・アップ】 大阪湾フェニックス事業の現状と今後の計画 大阪湾広域臨海環境整備センター環境課課長 清水伸一郎
- 【テクノロジー・トッデイ】 高速道路の維持管理で発生する刈草・剪定枝を用いたバイオマスガス発電 東日本高速道路株式会社建設・技術本部技術・環境部環境課 上原芳久

▶ [企画・編集] 建設副産物リサイクル広報推進会議 (事務局 (一財) 先端建設技術センター)
TEL.03-3942-3991/FAX.03-3942-0424 URL <http://www.suishinkaigi.jp/>

▶ [ご注文・お問い合わせ] (株) 大成出版社 営業管理部
TEL.03-3321-4131/FAX.03-3325-1888 URL <http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

FAX. 03-3325-1888 (株) 大成出版社 行 注文 年 月 日

図書コード	書名	定価 (税込)	数量
9998	建設リサイクル	定期年間購読	定価 5,528円 (送料込)
		単号	定価 1,296円 (送料別/実費) (本体 1,200円)

所在地 〒 -

フリガナ

団体・会社名

部課名

担当者名

TEL

FAX

E-mail

購読区分

公用・私用

※ご記入いただいたお客様の個人情報は、ご注文いただいた書籍の配送、ご請求等の連絡およびダイレクトメールのお届け等の弊社の営業活動に限って利用し、その目的以外での利用はいたしません。

注文書